



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1049 回(7 月 28 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 S A A 松浦君 宮野君

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
37名	27名	71.43%	68.57%

パスト会長の時間

吉松孝吉パスト会長



皆さんこんにちは。
私、石山会長の後を引き継ぎまして、1993年~1994年に2代目の会長をさせて頂いた経験がございます。皆さん会長になりますと、毎週の例会に何を話そうかということがまず題材となります。私の時は例会が52回位あったのですが、それを全てテープに収録して頂きました。その後、ビデオができて当時8mmビデオだったと思うのですが、催し物や式典等はそのビデオで撮影した経験もございます。今はDVDで全部撮れますが、やはり昔の画像と今の画像とは全く違い、今はデジタル化されておりますので非常に鮮明で声もきれいです。

私今、色々な病気を持っておりまして、片っ端からこの周辺の病院にお願いして治療をしております。将来完治するのかわからないままで、恐らく

あの世へいってしまうのではないかと考えておりますが、たまたま今一番お世話になっているのは、石心会という病院でございます。石心会に通っているうちに、仕事でもお世話になることになりました。

現在私が毎月1~2回通院しておりますのが整形外科でございます。私は腰を痛めてしまってから何年も経つのですが、脊柱管狭窄症、4番5番という所を痛めております。皆さんから「早く手術をしろ」、「最近ではレーザーが良いからレーザーで治療したらどうだ」等色々な話を聞いて、その病院に行ったり聞いたりしているのですが、なかなか踏み切りがつかず、医者自体からも「手術はしない方が良い」と言われ現在に至っております。

最近治療したのは足の太ももから下の方に、右は3本、左は2本なのですが、動脈瘤と言うのでしょうか、要するに詰まっているということで、その詰まっているものをとにかく開けて、バルーンという血管の中に風船を膨らませたようなものを差し込んだ後、ステンレスの穴が開いたものを通して、血流を良くするという療法を致しました。前回は30分位で3本の詰まった所をあっという間に治してもらい、今回は2本なのですが、それが一つの手術です。

今は非常に早いです。モニターを見ながらどんどんやっしまい、5分で1本ずつやってくれた先生なのですが、「早いですね」と言ったら、「私が一番早いのです」と言っておられました。あと2本の手術をしますし、心臓も詰まっていると言われておりますので、心臓も手術しようかと言われて

いるのですが、一度にはできないので心臓はまた別の日にして下さいということにしております。心臓で一番心配になるのは、途中で詰まるどころではなく、切れたり、詰まったまま心臓発作になったらアウトだということで、恐らく私のロータリーの終わりかなという所が今月末にわかりますので、25日過ぎに私が生きていたら、「生きていましたか!」と声を掛けて頂ければ、「おかげ様で」と言う位は出来るかなと思っております。

色々な話を総合致しますと、やはり長生きするというのが一番良いことなのです。朝起きたら息をしていること、よくおばあちゃんが「ああよかった、今朝も生きていたよ」という話を聞きます。「生きていくということは良いことなのだよ、おばあちゃん、何食べるの?」と言えば、「なんでも食べるよ」と、なんでも食べられる人はやはりバランスがとれて良いそうです。

私の知り合いの奥さんに、ちりめんのイワシを昼間からかじっている人がおりますが、あれも良いそうです。歯にもよく、中で骨を作る要素が入っているということです。イワシをかじっている人はなかなかいませんが、イワシの代わりにガムを食べている人は良くいます。これも咀嚼運動には良いのかも知れません。

なんらかの形で、人間生きていく以上は、死ぬまでは長生きして欲しいということが結論です。息をしている間は、人間の生命が宿っているということですから、息を沢山吸い込んで吐き出しているうちに、お腹もすいてくるし、夜は一杯飲みたくなるというのは仕方のない事かなと、一つの人間の摂理だと思って頂いて、やむなくこうして生きていくような感じで、今日もお話をさせて頂いております。私話することはあまり好きではありません。考えて考えて話をするということは、難しいこととございます。自分が何を話しているかわからなくなってしまう時がありますので、その時は脳梗塞でも、そのまま倒れてしまった方がよいのではということになってしまいます。

必ず人間は死ぬわけですから、できるだけ長く生きるにはどうしたら良いかということ、自分なりに考えた方が良いでしょう。私は昼間寝るのが大好きなので、時間があれば昼寝をしていた方が

良いと、昼間から寝ているような状況です。作文の依頼もあるのですが、文章書くことも好きではありません。やむなく今までのデータを紐解いて、丸写しするという程度のことでございまして、あまりそういうことも得意ではありません。

話は変わり、千利休をご存知だと思いますが亡くなったのは戦国時代で、家康、豊臣秀吉の時代でございます。彼は1522年大阪堺で生まれたと書かれております。57歳で織田信長に茶頭として雇われ、60歳の時本能寺の変、以降豊臣秀吉に仕え亡くなったのは1591年、要するに69歳で亡くなっております。その亡くなり方は、突如秀吉の逆鱗にふれ堺に蟄居を命じられ、京都に呼び戻され聚楽屋敷で切腹をしております。

よく映画やテレビで見ていると、切腹を命ぜられた人というのは引きずり回されて、強引にやらされるという方法、殿の命令で、一発で殺されてしまうということが昔流のやり方で、自決したというのは病死等で処理される、そういうことらしいのですが、切腹を命ぜられた以上は、お城の方から通達があって、決まってしまうそうです。しかしそれはまだ良い方で、我々のような庶民を相手にする切腹は、どこでどのような死に方をしようが、彼らは切腹して死ぬということの名譽に思って死んでいくそうです。そうしたことを色々と聞いているのですが、そのうちまた切腹についてという話もどこかで出るのではないかと思います。是非会長さん、宜しくお願い致します。

千利休とはお茶の世界では有名です。わびさびと言いますか、利休の言葉というものがございまして、「南方録」という一冊の本になって売っております。是非見て頂きたいと思っております。

お茶を点てるまでの間は、まず火を熾して、お湯を沸かして、お茶を点てて、そのお茶を神棚か仏壇にまず供え、そしてお客さんに出し、そして自分が飲み、お茶の良さを自分で感じていくということが利休の基本だそうです。その辺りのところを何百年という間、千利休の後の人たちが守ってこられて、今日の茶会というものが開かれているのではないかと考えております。そうではなくても、自分の家で狭山茶を淹れて点てて飲まれるのも一つの手かと思っております。

私はお茶屋さんの家によく行きまして、お茶を飲ませて頂きます。お茶は 80℃か 90℃の沸騰する前のお茶を一度湯呑に注いだ後、少し冷まして湯呑の中に入れ、それを点ててほしい 80℃から 70℃くらいのお茶を飲むことが一番美味しいとされております。しかし私はもっと温いものが好きです。中には茶柱を立てるのが一番良いという人もおりますが、あれはまた別の意味で良い悪いが決まると思います。お茶を専門に点てる事務所の職員に茶柱を立てるような訓練を受ける会社がございます。そうした所は立派だと思いますが、それを一人ずつ女子社員に教えている社長さんがいらっしゃるということを知り、びっくり致しました。茶柱を立てるといのはそう簡単には出来ることではないと思いますし、家ではほぼ 100%無理だと思います。しかしそれよりも香りが良くて、美味しいお茶を飲んだ方がずっといいと思います。

お茶の話も病院の話も致しましたので、私の話と致しましては、あとはあの世で皆さんをお待ちしておりますということくらいです。本当に、お互い長生き致しましょう。



先だっても寶積先生が亡くなられ、私は 2 日目に行きましたが、本当に今にも起きてこられるような感じの姿を見ますと、そのまま静かに亡くなられたような気が致します。自分はどうやって死ぬのだろうと考えた時に、やはり寶積先生が亡くなられたような感じで死ぬのかと思います。中には酷い亡くなられ方をする人もいるわけで、それは良い方なのだと思えます。

私はよく前のめりで足が絡み転んでしまうのですが、手をついたときには目の前の石ころ全て覚えております。「ああ、この石にあたるのか」と、一瞬なのですが、しかしその一瞬までも目を開いたままぶつかっているのです。つい 2 週間ほど前も自宅の洗面所で転び、窓際にあったクリップのようなものにひっかかりまして、その夜病院に行き 4 鍼縫いました。1 週間後に抜糸するということで、痒くて仕方がないのですが、我慢して、1 週

間後に抜糸をしてもらいました。今縫うのも良い機械ができています。糸を取るのもピンセットでポンポンと取ってしまい、それでおしまいになりました。転倒は怪我のもとと言いますが、本当に転倒だけはしないように心掛けて歩いているつもりなのですが、どこでどうなるかわかりません。夜遅くまで一杯飲んで帰る途中、車に乗り降りすること自体も危ないのです。是非皆さん方も、転倒は怪我のものを覚えておいて頂いて、怪我をしないようにして頂きたいと思えます。

会長の時間は 5 分でしたが、15 分くらい話してしまいました。歳をとると呆けてくるので、皆さんには申し訳ないのですが、まずそれを話すべきでした。認知症は早いうちに治した方が良いのです。守屋先生に頼んで、先日聞きましたところ、今の所大丈夫みたいと言って頂きました。やはり専門家が見るとわかってしまうそうです。ありがとうございました。

幹事報告

小島幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 8. 9 月分プログラムについて
1. 職業奉仕部門・国際奉仕部門合同セミナー開催について
2. 日豪青年相互訪問団員候補者募集について
3. 社会奉仕部門研修セミナー開催について
4. 受贈会報 所沢東 RC

「会員卓話」・・・・・・・・

吉川千鶴子会員

こんにちは。毎日の暑さで何もかも緩んでしまっており、このことを「箍が緩む」と、昔聞いたことがございます。「箍が緩む」とは、緊張が緩む、年を取って鈍くなる、締りがなくなる、規律が緩むということで、まさに今の私と同じです。



今日は片山さんとご一緒に、時間があまったら僕にお任せくださいと言われました。十分に甘えさせて頂きますので宜しくお願い致します。

5 千円札に印刷されている新渡戸稲造について以前お話したことがあると思うのですが、その祖父の傳のお墓が、私の田舎の実家から 100m 程離れた所にございます。そのお話を少しさせて頂きたいのですが、その前に色々運命ということがあるのかと思いました。飛行機事故で亡くなったり、私も小学生の時に体験したお話をさせて頂きたいと思えます。

小学校 4 年生くらいだったと思うのですが、家族で山菜取りに行きました。車で家族 5 人、両親と弟 2 人と私で行ったのですが、途中焼山という所で休み、また少し走って両親と弟 2 人が車を降りてトイレに行き、車に私一人残りました。すると車が後ろの方にツーツーと走りまして、後ろを見ると崖なのです。車はもう前が立っておりまして、私は「死ぬ、死ぬ」と叫んでいたようなのですが、木がたくさんあって、そのうちに石かなにかにつかまったと思うのですが、そこへ引っかかって止まったのです。両親も弟も皆大騒ぎをして、そしてそれを聞きつけた、たまたまダムの工事をしていた人が 3 人来ました。私は恐らく泣き叫んでいたと思うのですが、しばらくするとブルドーザーが来て、私は助かりました。工事の人やブルドーザーが来なければ、私は今死んでいたと思います。このような凄い体験をして、飛行機事故の方ですが、運命とはいつ来るかわからないなど、ニュースをみてつくづく思いました。

また 21 歳位の時に私はおじさんの家に住んでいたのですが、一人暮らしをしたくて、石神井公園という所にアパートを借りました。引っ越してまだ間もない、1 週間位たった頃、21 時頃帰りましてカーテンを閉めようと思ったら、西の空の方にオレンジのものが見えました。ずっと見ていたら、そんなに早くなく、ススッとちょうど私の視線の所に近づいてきてまして、アパートの窓の前に凄く大きな木があったのですが、その木の所でそのオレンジ色がピタッと止まりました。もう怖くて怖くて、カーテンを閉め、後ろに台所があったので、その椅子の下に一晩中隠れておりました。

これは絶対に UFO だと思ひまして、次の朝絶対に騒ぎになっていると、テレビや新聞を早速見てみたのですが、誰も騒いでおらず、アパートの人に会っても誰も何も言わないのです。あれは何だったのだろうと、今でしたら年齢的に幻覚症状等言われそうですが、その時は嫁入り前の穢れも知らない、邪心もなくそのような物を見たので、恐らく UFO ではないかと思っています。

片山さんがたくさん資料を作ってこられていて、時間が足りないと言っていたので、新渡戸傳のお話はまた機会がありましたらするということで、片山さんに宜しくお願いしたいと思います

「尖閣諸島の領有権」

片山 進会員

尖閣諸島(沖縄県石垣市)をめぐると日本と中国の対立が続いている。中国の領有権の主張は根拠のない「言いがかり」であることを認識し、毅然とした対応をとり続けることが重要だ。



尖閣諸島を自国領だとする中国の主張がおかしいのは、日本が 1895 年(明治 28 年)に尖閣を領土に編入して以来、70 年あまり何ら異論を唱えてこなかった点である。

中国が領有権の主張をはじめたのは、1969 年(昭和 44 年)に国連アジア極東経済委員会が付近の海底に石油の埋蔵可能性を示す報告書を公表した後の 71 年になってからだ。72 年の日中国交正常化交渉の際、当時の周恩来首相が田中角栄首相に、「石油が出るからこれ(尖閣)が問題になった。」と述べていることからしても、石油資源の獲得を狙って領有権を主張しはじめたのは明白だ。

世界を見回してみると、離島をめぐると国家間の対立はたびたび生じているが、ほとんどのケースは、ある国が島の領有を宣言すれば一方の国がすぐ抗議行動を展開している。例えば竹島(島根県の島町)に関しては、52 年 1 月に韓国が不法占拠をすると、日本政府は同月中に韓国の領有権を認めない口上書を送付した。

尖閣諸島を巡る主な経緯

シンガポールとマレーシアが国際司法裁判所 (ICJ) で領有権を争ったペドラ・ブランカ島については、79年にマレーシアが自国領として地図に記載すると、シンガポールが約2ヶ月後に抗議している。

こうしてみると、中国による尖閣の領有権の主張は極めて異例であることがわかる。隣家の庭先に転がっていた石が高価なものであったと知って、はじめて「俺の石だ」と言い出したようなものだ。東大の小寺彰教授(国際法)は「完全な言いがかり」と断じている。中国の主張は法的にもおかしい。第2次世界大戦で敗戦国となった日本の領土は、サンフランシスコ講和条約(51年締結)で決まった。日清戦争で獲得した台湾や澎湖諸島の領有権を放棄した一方、尖閣については沖縄本島とともに米国の施政下におかれることになった。同条約により尖閣は沖縄県の一部であることが確定した。(小寺教授)

中国は同条約に加わっていないものの、条約が締結されてから約20年も異論を唱えなかった。その後、①尖閣は台湾に付属する島である——②サンフランシスコ平和条約は無効だ——とする立場をとったうえで、カイロ宣言(43年)とポツダム宣言(45年)を根拠に、尖閣は中国の領土であると主張するようになった。両宣言、第2次世界大戦中に連合国が合意した戦後処理の取り決めだ。カイロ宣言は日本が中国から「盗取した」地域を返還するように求め、ポツダム宣言は日本の領土を「本州、北海道、九州、四国と我々が決める小島」に限定すとしている。しかし戦争後の関係国の領土は、平和条約で決定されるべきものだ。サンフランシスコ平和条約は関係国間で問題なく発効し、尖閣は沖縄県の一部として扱われている。中国が同条約を無効とする根拠は見いだせない。中国は現在尖閣周辺の日本領海に公船を送り込み、「領土問題」が存在しているかのように振る舞っている。日本から「戦後の国際秩序」を変更しようとしているとも宣伝している。だが「秩序」を変更しようとしているのは中国なのだ。

1884年頃

民間人の古賀辰四郎氏が魚釣島を探検以降、鳥毛の採取や漁業に従事。

1895年1月14日

政府が尖閣諸島を日本の領土に編入する閣議決定。

1895年4月17日

日清両政府が「日清講和条約」に調印。

1896年9月

政府が、古賀辰四郎氏に、魚釣島、久場島、北小島、南小島を30年間無償貸与。

1920年5月20日

中華民国が漁民を救護した日本人に感謝状を贈呈。「沖縄県八重山郡尖閣諸島」と明記。

1921年7月25日

政府が大正島を固有地指定。

1932年5月27日

政府が古賀善次氏に魚釣島、久場島を払い下げ。同じく北小島、南小島も払い下げた。

1946年1月29日

連合国軍事司令部が訓令。尖閣諸島が米軍の直接管理下に。

1952年4月28日

サンフランシスコ講和条約発効。尖閣諸島は引き続き米国の施政下に。

1969年5月

国連アジア極東経済委員会が周辺海域に石油埋蔵の可能性を指摘。

1971年6月11日

台湾が尖閣諸島の領有権を主張。

1971年12月30日

中国も領有権を主張

1972年5月15日

沖縄返還協定発効。尖閣諸島の施政権が日本に返還。政府が久場を賃借。

1974年~1988年

魚釣島、久場島、北小島、南小島が古賀氏から民間人に譲渡。

1978年8月12日

政治団体「日本青年社」が魚釣島に灯台を設置。

1992年2月25日

中国が尖閣諸島を中国領と規定した領海法を制定。

1996年9月26日

香港の民間抗議船が尖閣諸島周辺の領海内に侵入。4人が海に飛び込み、1人死亡。

2002年4月1日

政府が魚釣島、北小島、南小島を賃借。

2004年3月24日

中国人活動家7人が魚釣島に上陸。沖縄県警が不法入国で逮捕し、強制退去。

2010年9月7日

尖閣諸島周辺の領海内で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突。

2012年3月2日

政府が尖閣諸島周辺で無名だった4島に命名したことを公表。

2012年4月17日

石原慎太郎東京都知事が尖閣諸島の購入方針を表明。

2012年7月6日

政府が石原都知事に国有化方針を説明。



江原君 吉松パスト会長、本日のパスト会長の時間、また片山会員、吉川会員、本日の会員卓話を何卒宜しくお願い致します。

栗原成実パスト会長、スイカ有難うございます。美味しかったです。

小島君 会員卓話の片山さん、吉川さんお話楽しみにしておりました、宜しく申し上げます。

東君 先週は長女が水疱瘡の為、例会を欠席致しました。今週は次女の水泳教室のお迎えの為早退致します。

浜野君 本日は吉川会員、片山会員の会員卓話楽しみにしています。宜しくお願ひいたします。

稲見君 片山さん、吉川さん、お話し楽しみです。

栗原(憲)君 早退させていただきます。

沼崎君 誠に申し訳ありません、8月中例会を休ませて下さい。

奥富君 吉松パスト会長、今日の卓話よろしく申し上げます。

佐藤君 パスト会長の時間の吉松パスト会長、会員卓話の片山会員、吉川会員、猛暑の中ご苦労様です。それと、栗原成実パスト会長美味しいスイカご馳走様でした。来年もよろしくお願ひ致します。

清水君 栗原成実パスト会長スイカありがとうございます。美味しかったです。

吉川君 先週休みいたしました、申し訳ございません。今日は卓話をやらせていただきます。